



作・絵：唐栗コロツケ

かじだん・少年と乳の親



ええ、ですから
来週には帰れる
かと――

はい、すいません
主人の実家に
帰省しまして

ハル坊

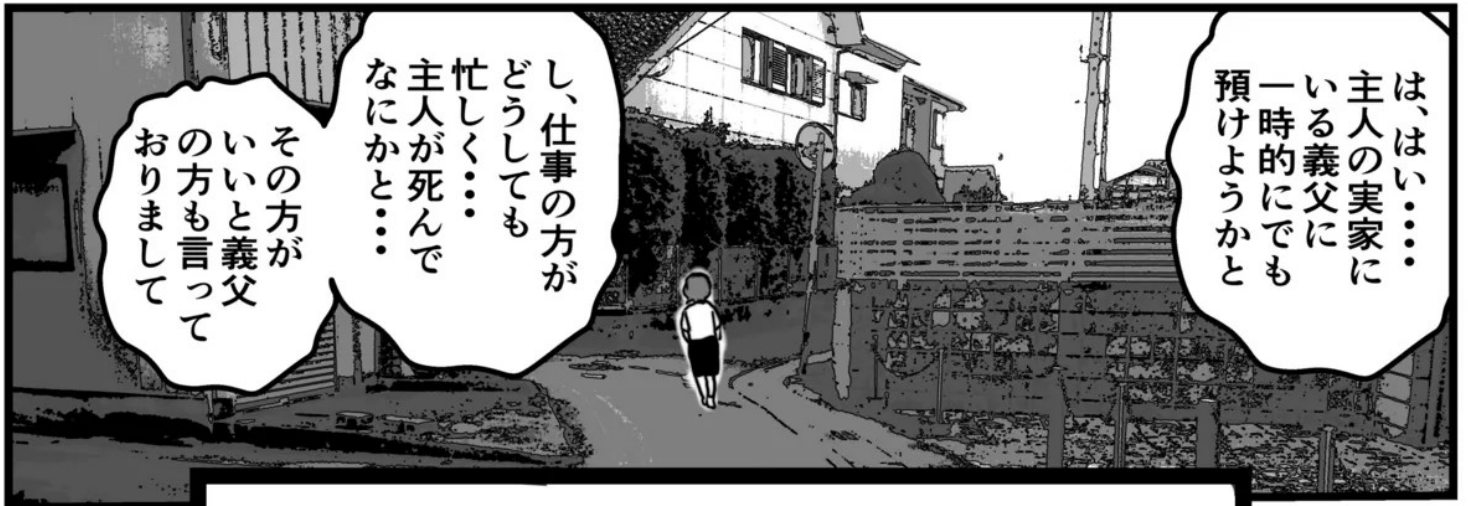


おつかいを
頼まれて
くれんか？



はると
春斗くん？

.....



は、はい……
主人の実家に
いる義父に
一時的にでも
預けようかと

し、仕事の方が
どうしても
忙しく……
主人が死んで
なにかと……

その方が
いいと義父
の方も言っ
ておりました



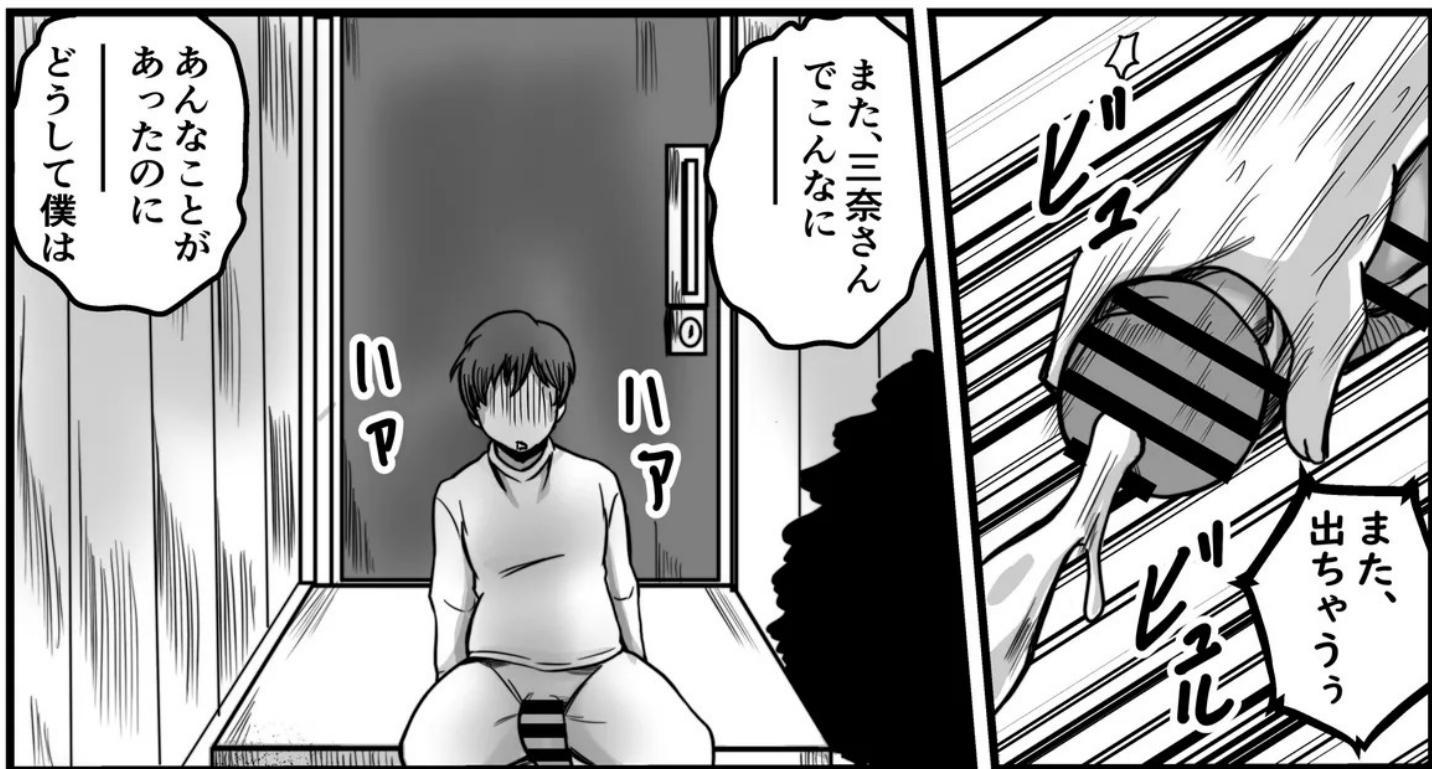
はあはあ……

三奈さん、
ごめんなさい

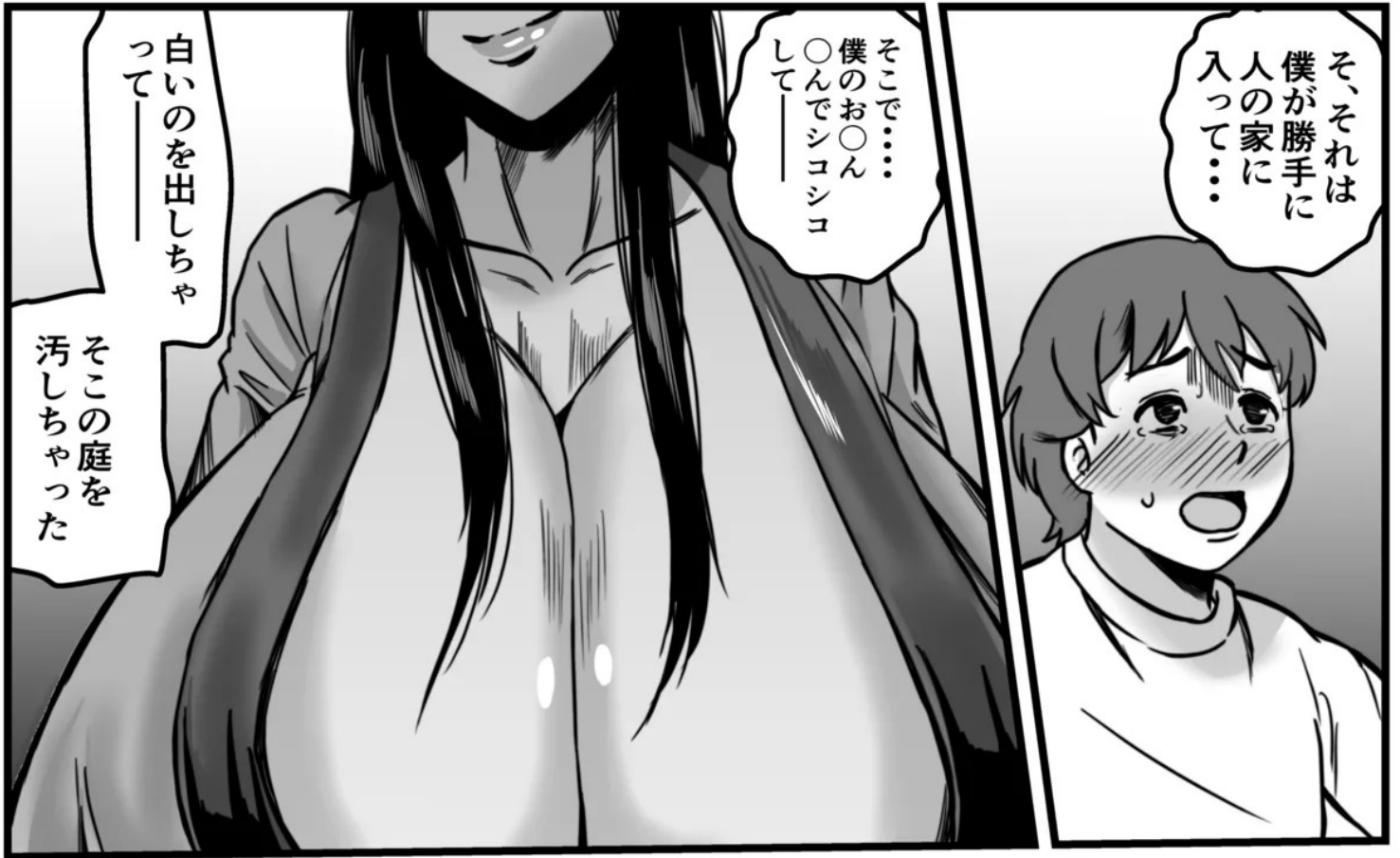
また、三奈さん
のおマ○ユで
シヨシヨして
ごめんなさい

だ、だって、
三奈さんを
想像して
やると……

白いの
がビュウ
ビュウ
たくさん
出て
気持ち
いいんだ







うわあ……

ブヨッ

すっごく大きな
おっぱい——
三奈さんより大きい——

下の方のビラビラも
毛が濃くて、エッチ

あらあら、
まあまあ



ど、どうしよう
またお〇ん〇ん
が――

気にすること
ないのよ

ママのおっぱい
に反応しちゃっ
たのね♡

わたしの
僕ちゃん

わ、わたしの
ぼくちゃん？

そういえば
さつきから
ぼくのこと
ずっと……

でも、すぐに
鎮めてあげないと

苦しそう
ね――

えっ!?

オッ……





うわっ、
なにこれっ!?

ムニャ...

お〇んお
おっぱいに
挟まれて...

お姉さんの
おっぱいの
中で

スリヌ

こすれて、
どんどん
お〇んおん
熱くなって

スリヌ



熱いものが
込み上げて
くるよお

ムニャ
70

ムニャ

70

こんなの
いつもしてる
のと全然違う



ママが知らない男
の人と遊んでいた
のは一年前

あっ♡

クキョ

あっ♡

僕は、その時何も
わからず、ただ僕が
優しかったママの

いやらしい
女だなぁ

あっ♡



隣で息子が
寝てんだろ

あぁあ

今ぐっすり
寝てるわよ

そんなことより
もっと
ちようだあい♡

一番じゃないこと
にショックを受けて
いた

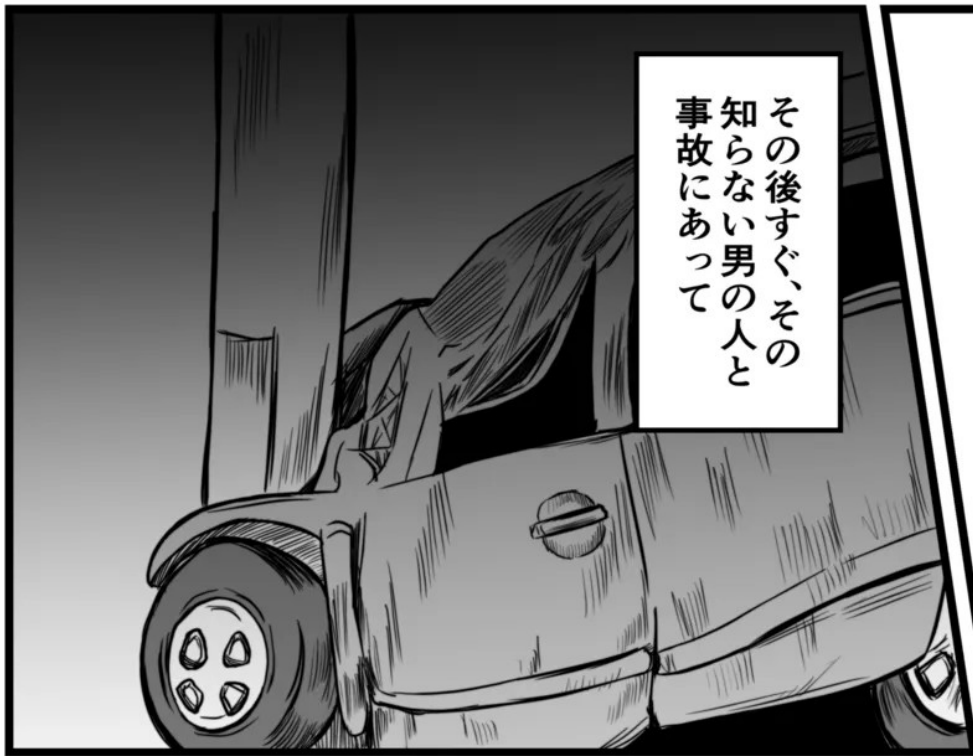


あぁあ

あぁあ

どうすればママの
一番になれるのか
わからず

僕はつい大好きな
パパにそのこと
を相談してしまった



その後すぐ、その知らない男の人と事故にあって



結局、ママはそのことで家を出て行き、



僕のパパは、ママが出ていって、しばらくして、三奈さんを家に連れてきて、

若月三奈さんだ

お前の新しいママになってくれるひとだぞ

よろしくね 春斗くん

でも、パパの中では、ママが出て行ったことと死んじゃったことがシヨックだったんだと思う――



ママがずっとそばにいるから

僕にそんなこと言ってくれたのに――



パパも三奈さんを家族に迎えてすぐ

春斗くん 大丈夫だからね



ちよっと、
春斗くん!?

何考えて
るの!?

変な冗談は
やめなさいっ

は、春斗くん!?
今すぐやめな
さいっ!!

どうしても、あの時の
ママのいやらしい顔
が思い浮かんで――

クチュ

クチュ



ごめんなさい
三奈さん...でも

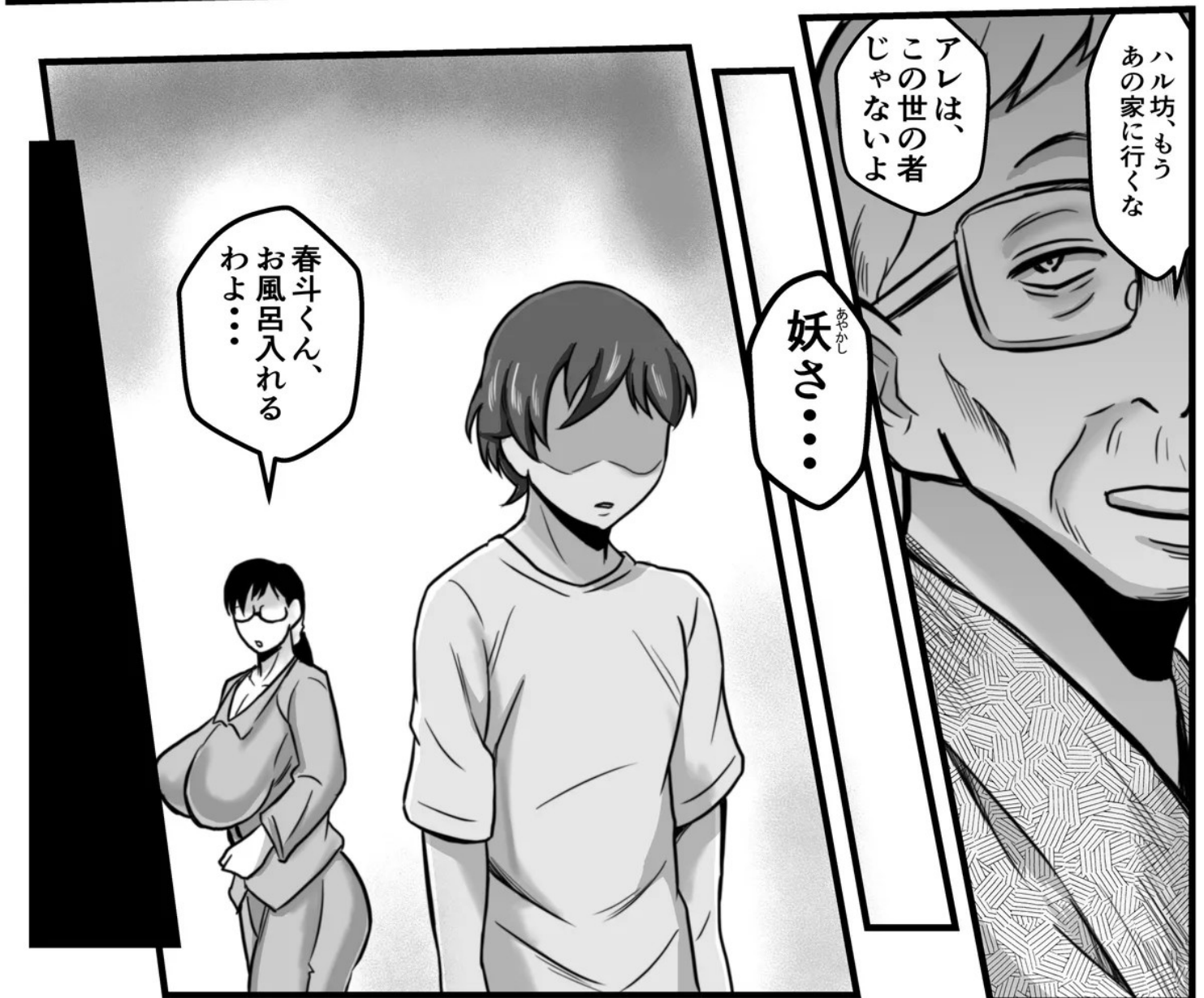
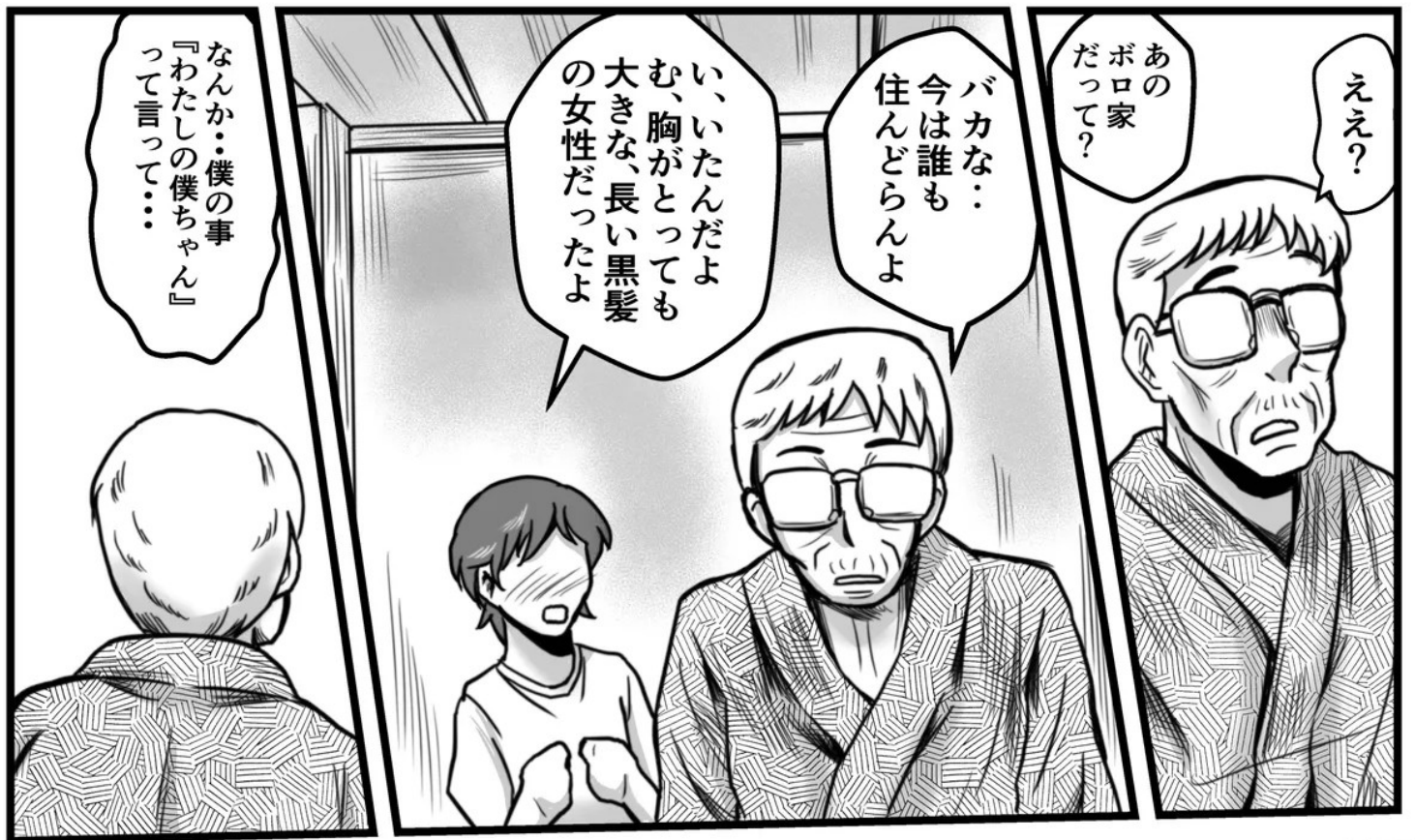
ウ、ウソでしょっ
まつ、待って...

こ、これが三奈さん
のおマ○コ...なの!?
すぐく気持ちいい...

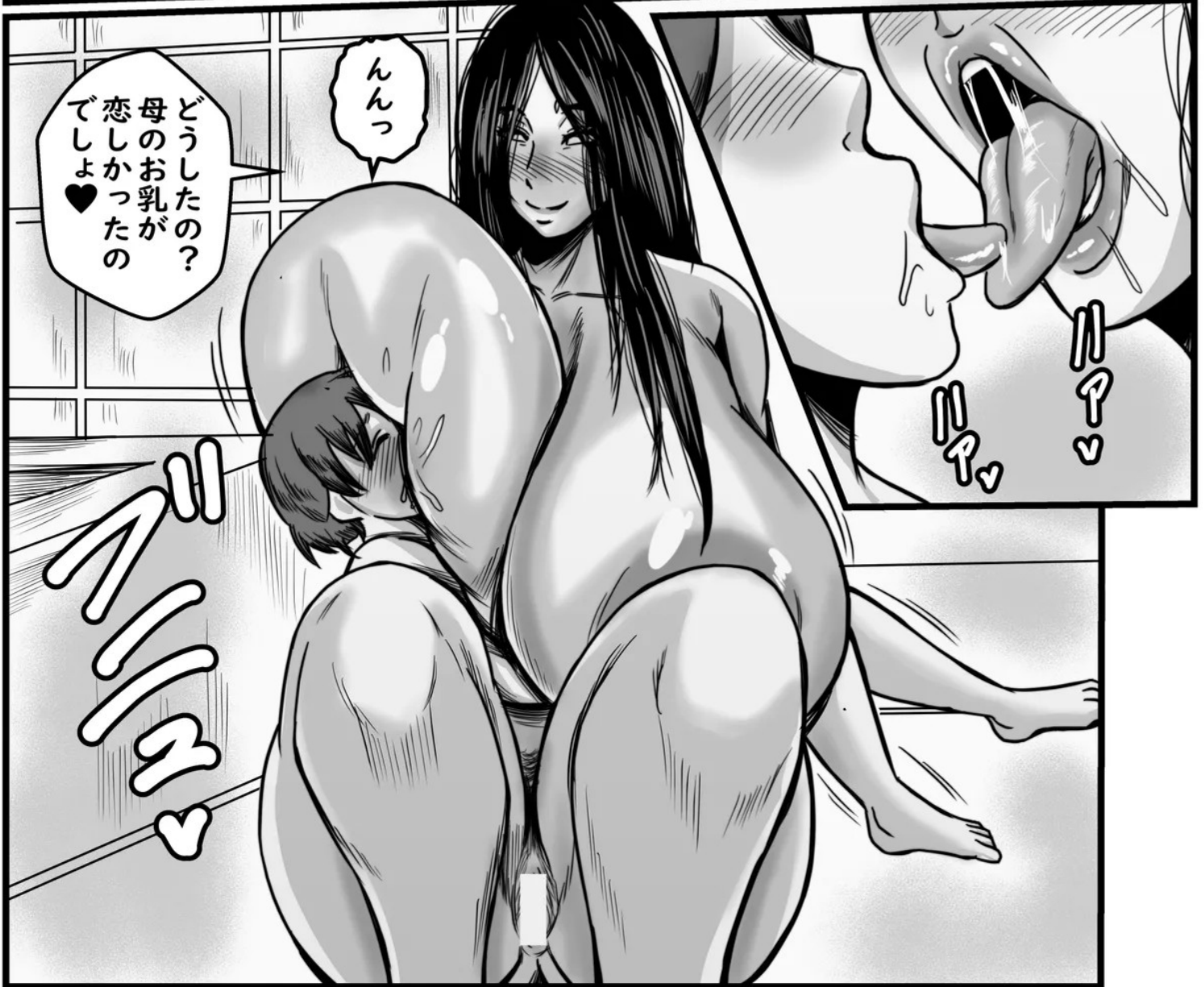
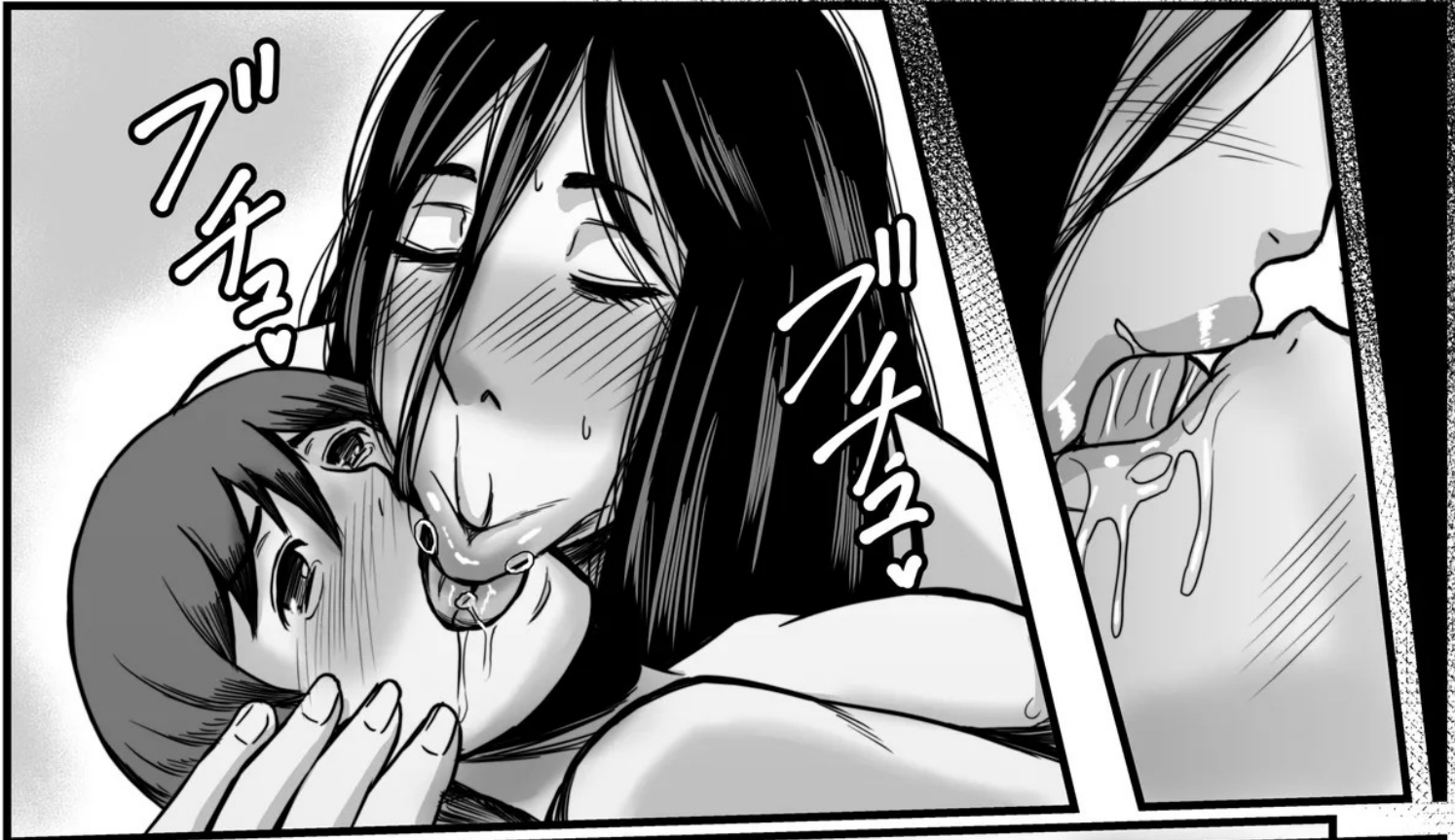
いやあまッ

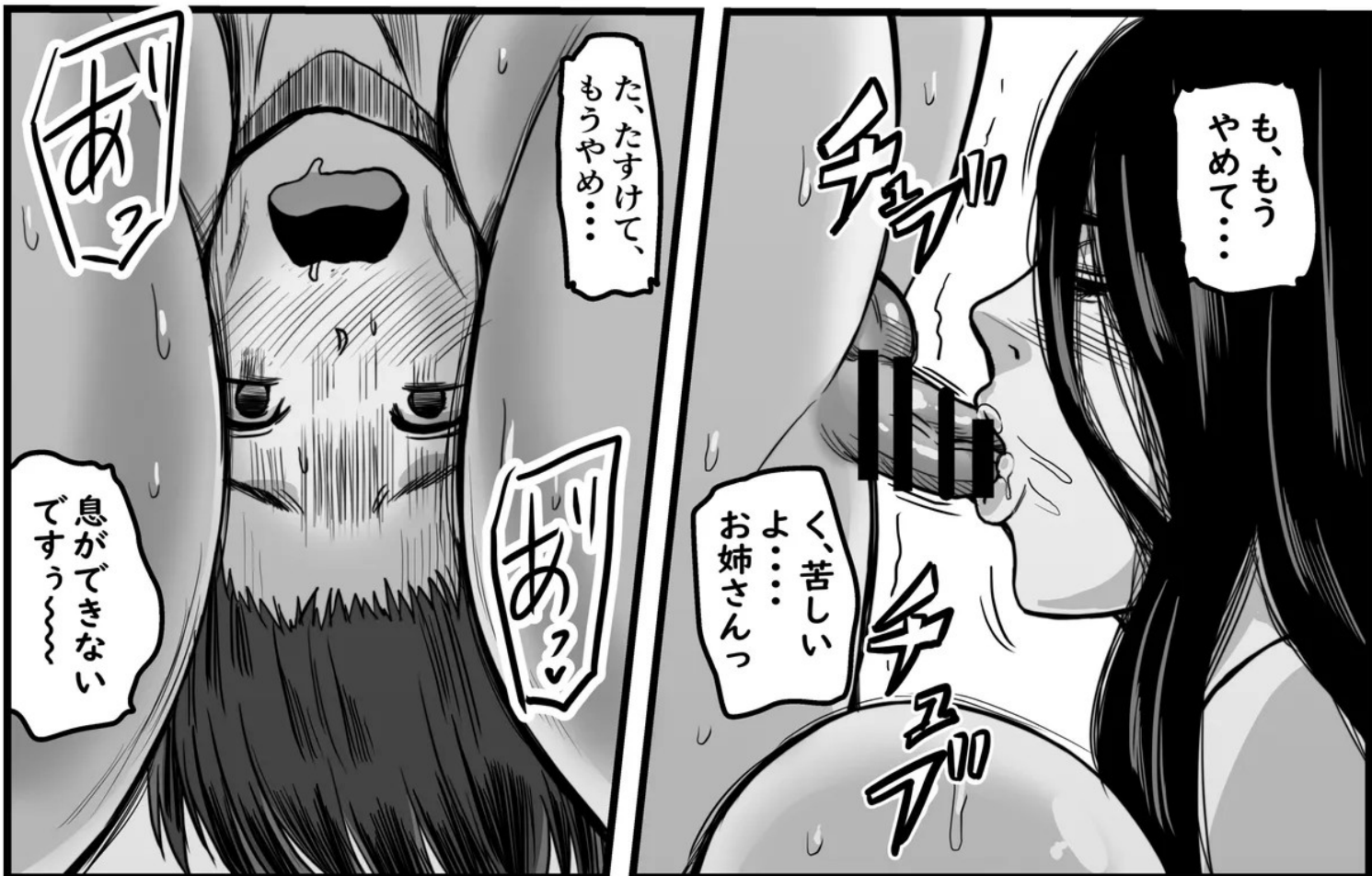
クチュ...

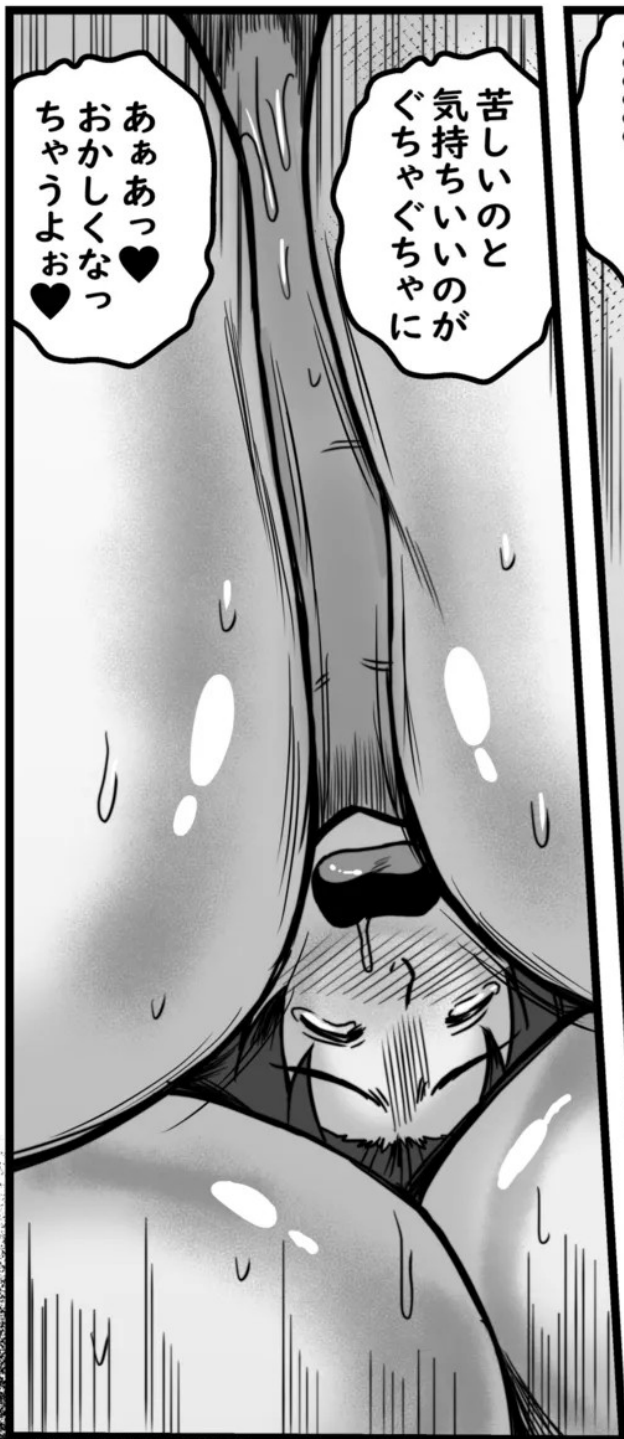
クチュ











あああっ♥
おかしくなっ
ちやうよお♥

苦しいのと
気持ちいいのが
ぐちゃぐちゃに



あっ
あうう♥

そんな強く
吸わないでえ



おのののん
から熱いの
出ちやうよ♥

ぐわん

ちかり
ハハハハ

あっ
出るっ



お、お姉さん
お姉さあん♡

ようやく本性を
現しましたね♡

こっちの方は
もう母とやる気
満々のようです

ビクッ
ビクッ



ああっ、小さい
けど、熱く...

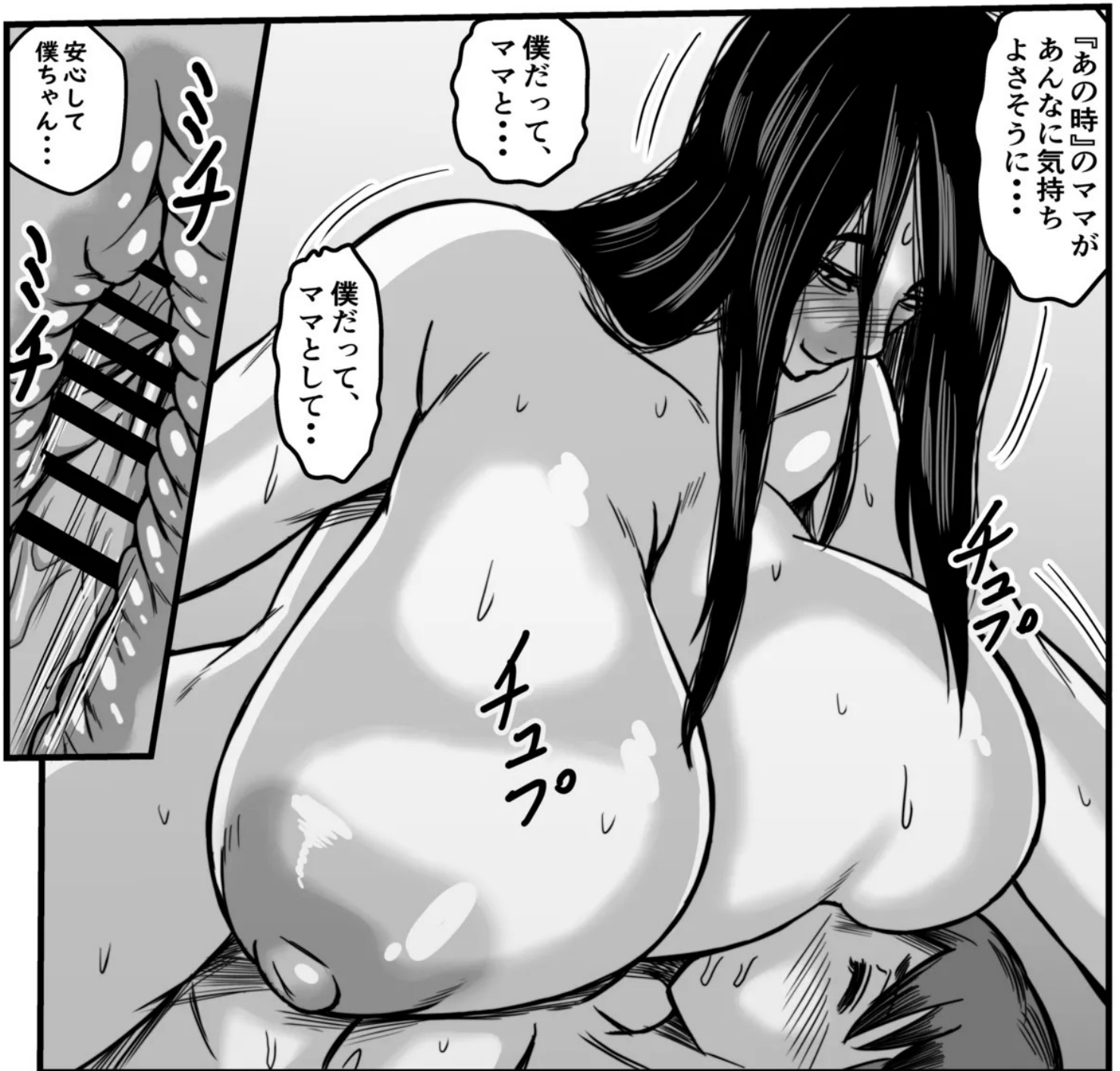
母の膣内で
一生懸命
動いて...

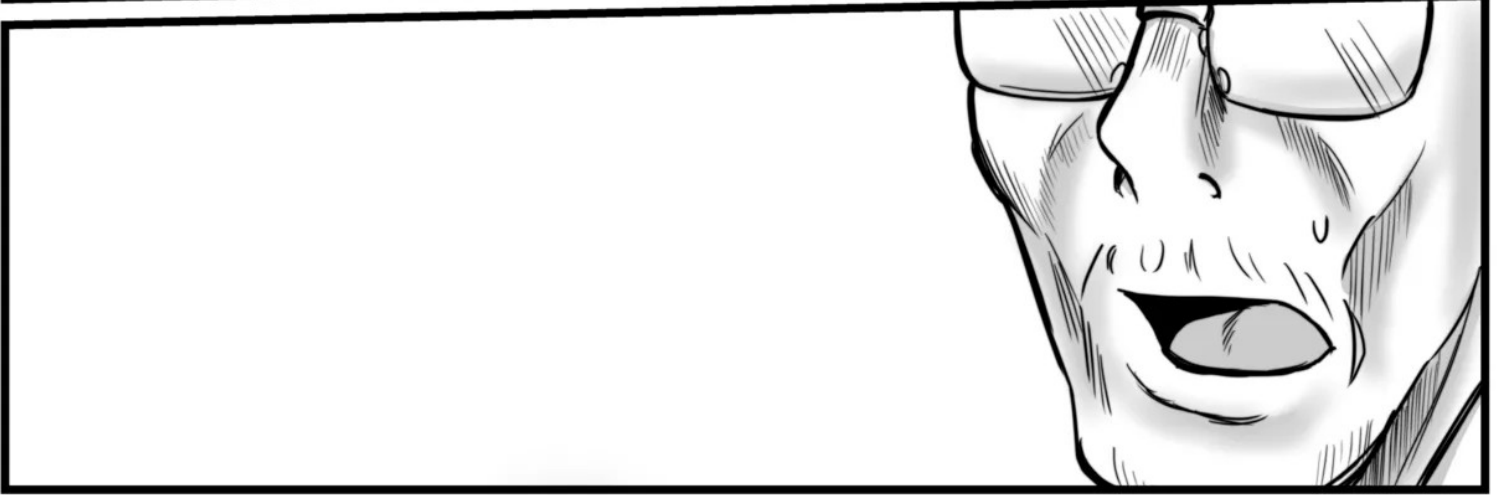
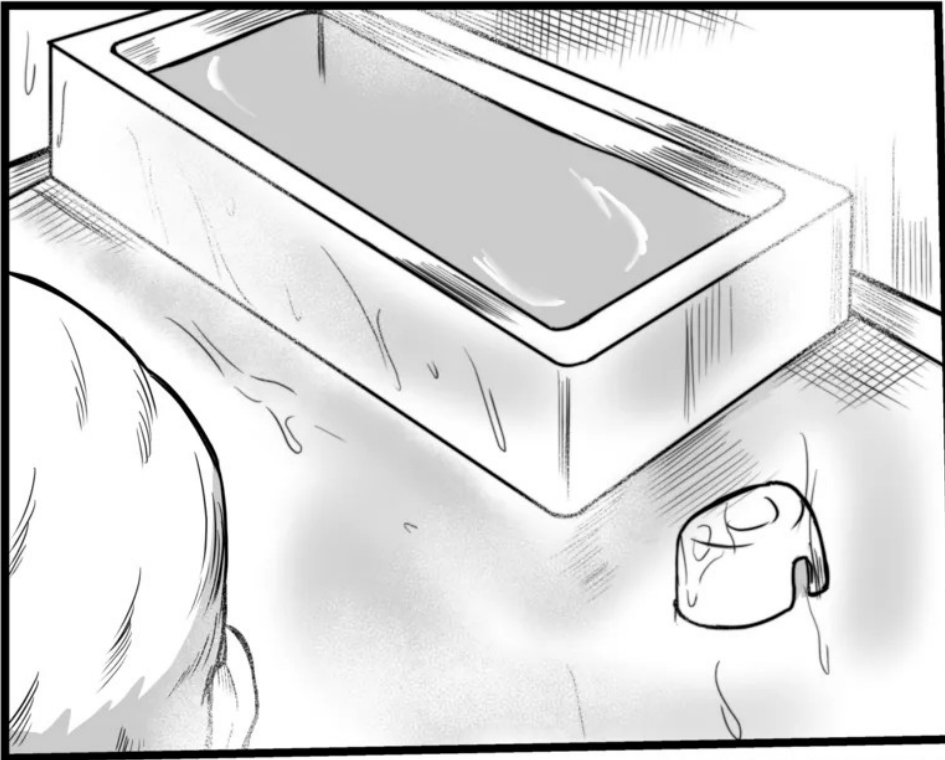
さっきまで
怖がっていた
のがウソのよう
に情熱的♡

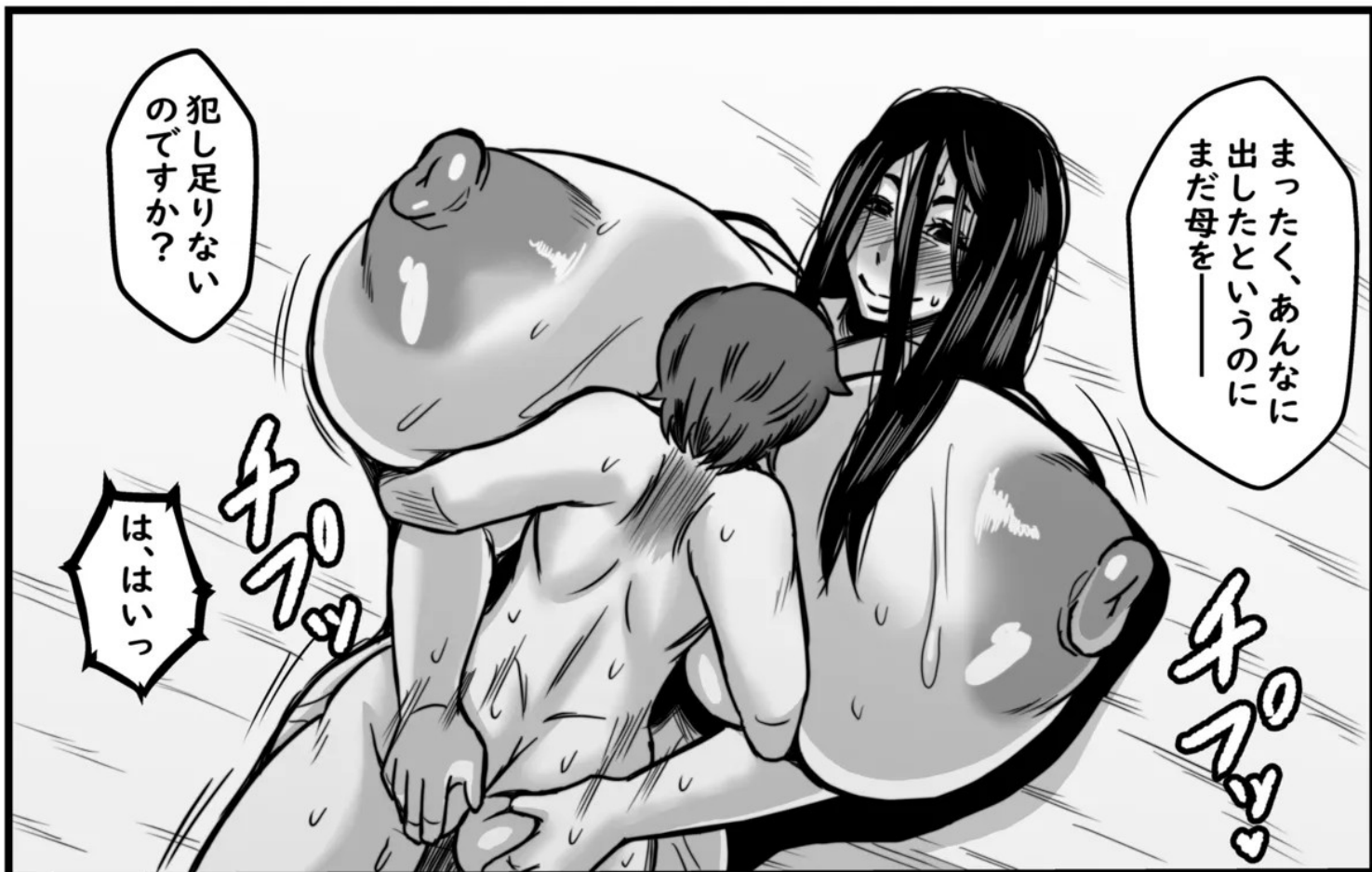
ああっ♡
ああっ♡
ああっ♡

ダホッ♡
ダホッ♡

ダホッ♡
ダホッ♡







まったく、あんなに
出したというのに
まだ母を――

犯し足りない
のですか？

は、はいっ

チッ

チッ



ほんとに
いけない子
なんですね
あなたは

チッ

チッ



はああん
♡♡

チッ

チッ

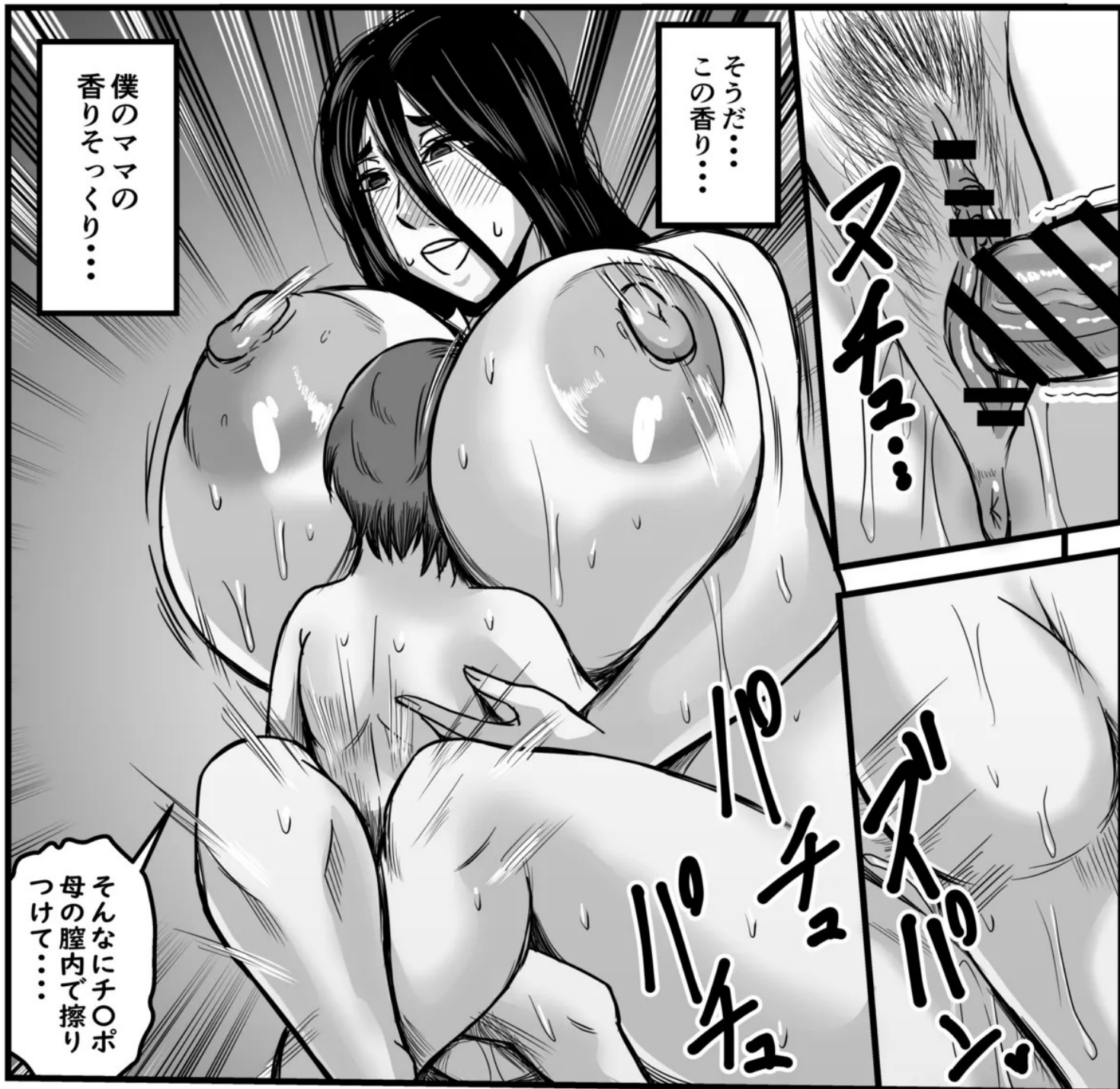
僕は、ママを
ほんとに
イカしていない
ですっ



はあ♡
ママあ♡

チッ

チッ



僕のママの
香りそっくり...

そうだ...
この香り...

ヌキヌキ...

そんなにチ○ポ
母の膣内で擦り
つけて...

ハッハッハッ
ハッハッハッ



そんなに母と
シコシコするのが
いいんですか？

は、はひ...
ママともっと
したいです...

春斗君が
行方不明
だなんて…

ほんとに、
お義父さんは
何も知らない
んですか？

お義父さん!?

沖縄にいたと
いう女の妖怪
『乳の親』

一説には、乳の
親という妖は、
子供を早くに
亡くした

母親の霊だと
いうが…



母がろくでもない
妻子持ちと駆け落ち
した挙句、死に

それが原因で
親戚中をたらい回し
されたワシの前に
現れた彼女も

伝承通り孤独
だったワシのため
『母親の代わり』
いや、母親として
ワシを育ててくれた

食事、洗濯、お風呂
一人で寂しい時には
いつもそばにいた

彼女はワシのため
必死に『母』として
接してくれた

そういう存在
なのかもしれん



しかし、『母』として息子のために生きる存在ということとは

息子のためならなんでも叶えようとする存在ということ——

少しでも彼女へのよこしまな想いが生まれれば——

母はとつても気持ちよかったですよ、

たくさん練習したかいがありましたね
さあ、もっと母をイカせていいんですよ

僕ちゃん

おおおお
息子のおチ○ポ
でイク、イクウ

もっぎ
もっぎ
しんじ

ハキハキ
シクシク
おんおん

おんおん
おんおん
おんおん

ワシと同じように
母への歪な愛が
春斗にあるのなら

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

またボクの
ロンロンで
イッてええ

春斗は帰ってこれん
かもしれん

あーっ

あーっ

あーっ



そして、あの人もいるんじゃないかな……

ほ、ほんとに春斗君はそこにいるんですか？

ああ、間違いないじゃろ



この世知辛い世の中、親との絆も弱くなったこの世であの人は、形を変え、増殖し、ワシらのような子供の前に現れるのかもしれないな——

しかし、それはワシがかつて会ったあの人の別物なのかもしれない

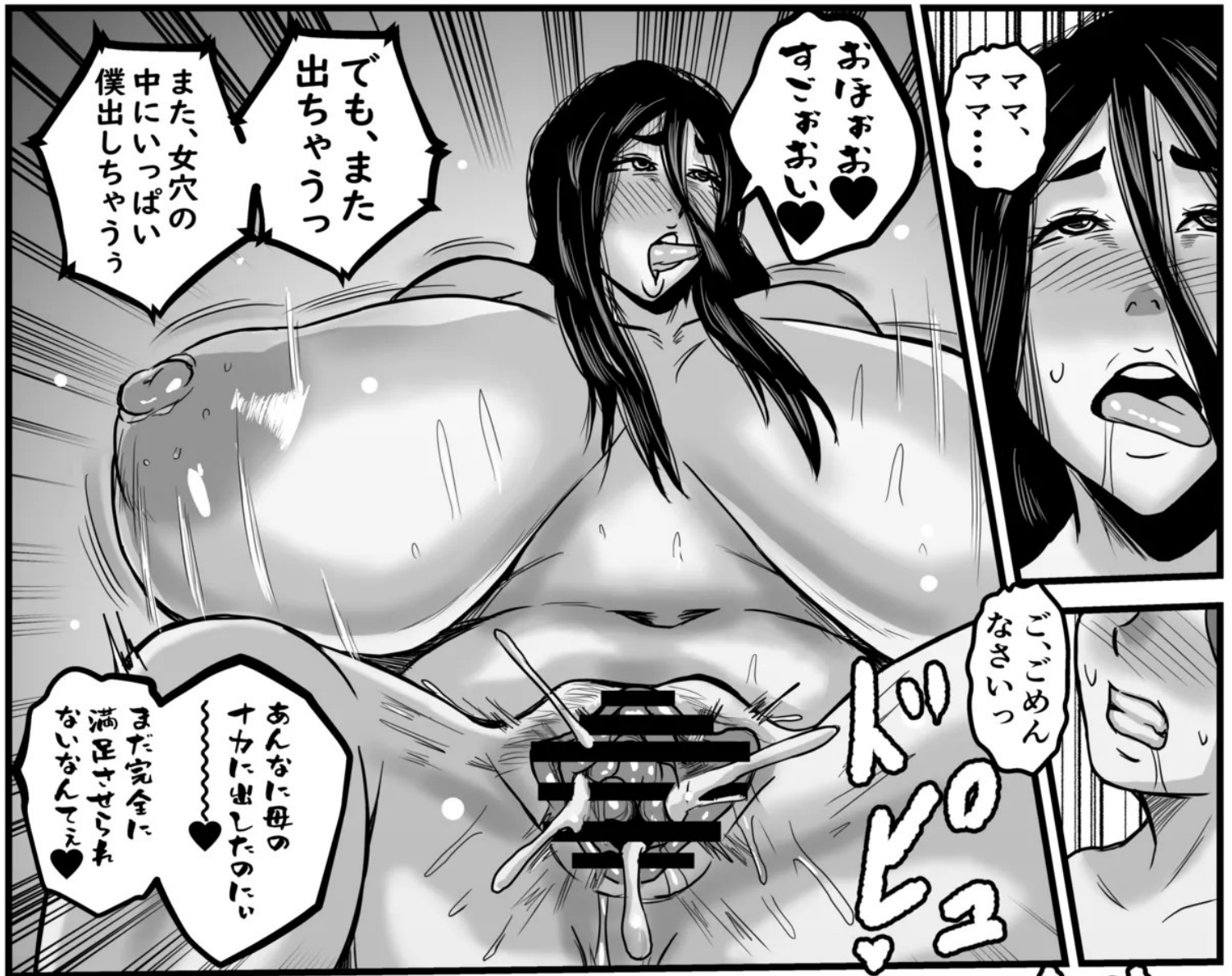
ハル坊の言っていた特徴と違いすぎる……

ハア

ハア

ハア

ハア



僕を捨てた
ママ——

僕よりも
男の人を
選んだママ——

僕は、ただママに
愛してほしかった
んだ——

も、もう
いやあ

おぼずっ♡

おっ♡

ググ

ググ

それを僕は、僕を
愛してくれた人に
ぶつけて——

僕を捨てて、
死んでしまった
ママ——

三奈さん
三奈さん
気持ちいいよ

ズン

ズン

春斗君の
お元気
おチ○ポで

ママ、
壊れちゃう
わあ~~~~♡

おぼずっ♡

おっ♡

僕は、たった一人
残った大切な人を
壊してしまっただ

ち、ちがらん
ですっ!!

私、知ってたん
ですっ!!



この子、天才かも♡

あほ♡

母親の愛に飢えているあの子を利用して——

おほ♡

ほんのやせ 教えてあげた だけで、こんな 激しくしてやる んだもの♡

あの人より 毒倍感じ するゾクゾク♡

すっごい♡この ち○ぽ♡



あ、私だっただ 棄しんだって いじぢやないっ

あの人は未だに 前の奥さん想って 勝手に死んでっ

召使みたいに この子を育てて きたのよおっ

すまっど くらっ

でも、次第にしてる ことが怖くなって、 勝手にあの子を遠ざ けたんです——

でも、あの子は 自分のせいだと 勘違いして——

またイッ
イッちやうらっ



僕は、ずっと
ここにいますよ

ずっと

だから、
ぼくを
ここに

あそこに
僕はいちゃ
いけないだ

ハルト

ハルト

ハルト

あれ...?
だれだろう
?

だれか、僕を
呼んで...

だれか
大切な...

ハルト
くん

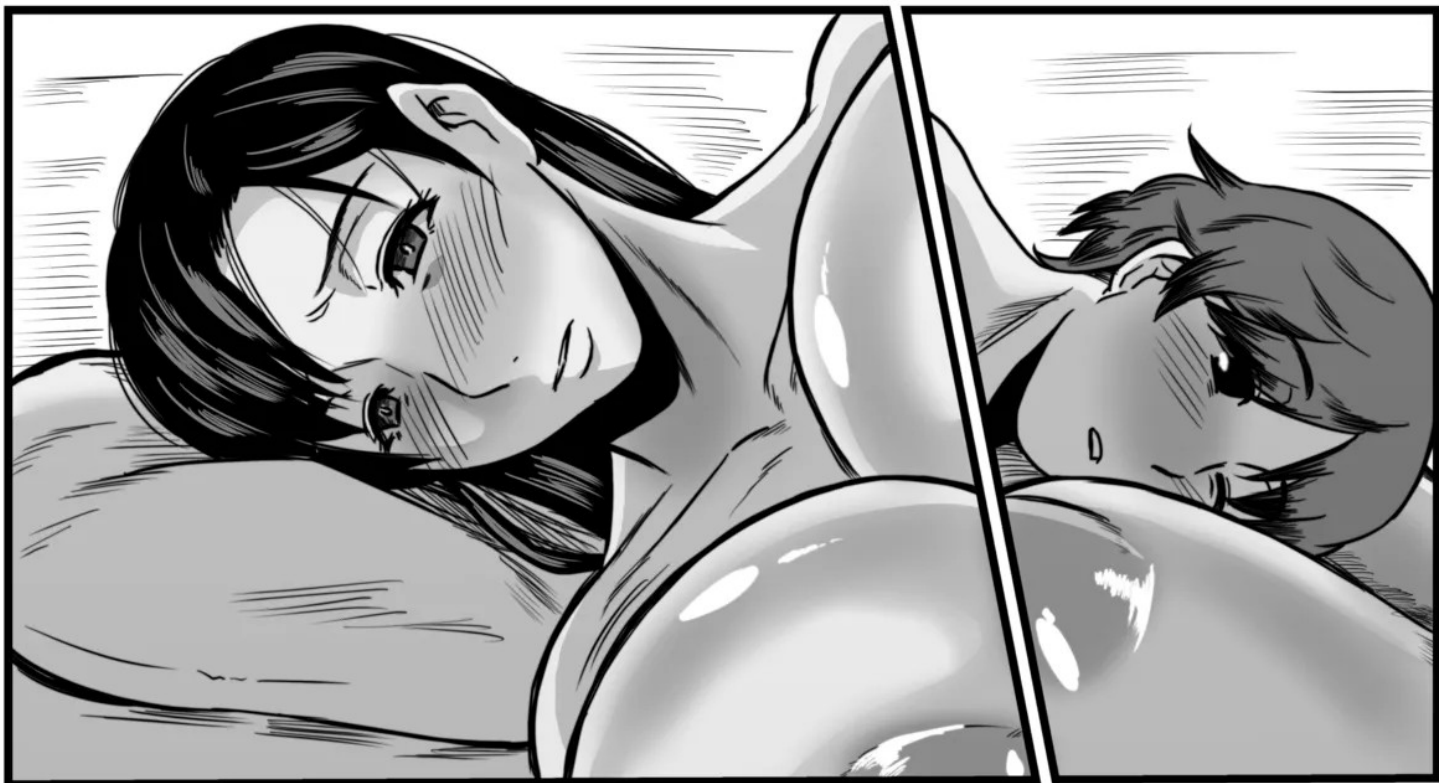
残念ね.....
やっぱりあなたの
「母」をさがさ
みたい

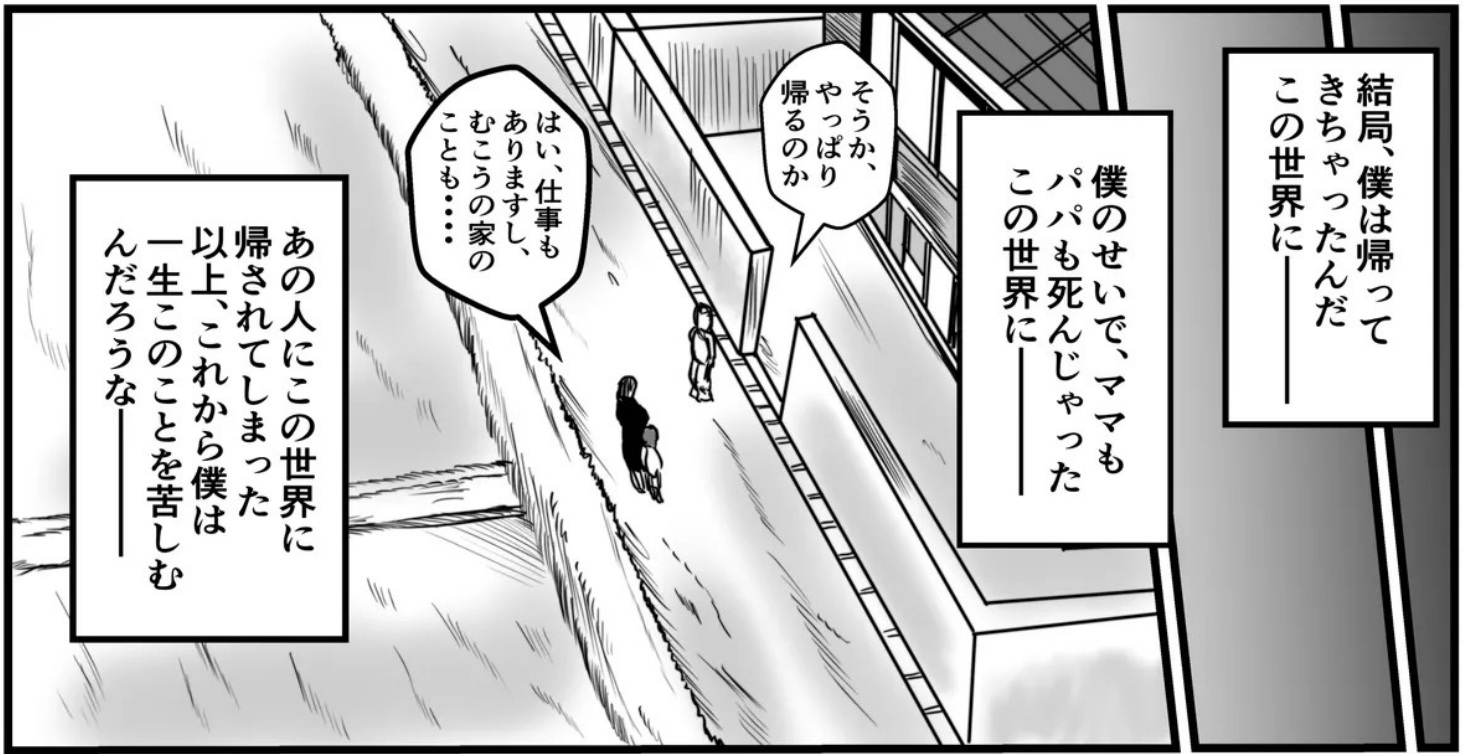
ハルト

ハルト

ハルト

ハルト





結局、僕は帰って
きちゃったんだ
この世界に――

僕のせいで、ママも
パパも死んじゃった
この世界に――

そうか、
やっぱり
帰るのか

はい、仕事も
ありますし、
むこうの家の
ことも……

あの人がこの世界に
帰されてしまった
以上、これから僕は
一生このことを苦しむ
んだらうな――



少し、二人で
これからのこと
を考えていこう
かと思っています……

そうか、
がんばるん
じゃぞ

でも――

